まなぶ
2025年3月号
No.826

♣ 扉　ベトナムの民族楽器③　青木有理　1
♥ まなぶということ　山田（樋浦）敬子　2
♠ 今月の統計資料　4
◆ 詩　「コスパ」「タイパ」　地引　浩　8

特集　震災をわすれたのは、だれ？

震災が残した課題―見えない被害に向きあう　……吉田千亜　10
30年たったが、震災の経験は働き方を変えていない　…中村雅光　13
非常時を忘れないことで見えてくる課題　……玉城一郎　18
震災から14年　記憶の風化と多忙化の中で　……押部香織　20
能登半島地震・豪雨災害と労働組合のたたかい　……種井一平　22

日本のうしお　世界のうしお
“偉大なアメリカ”をつくる　トランプの3人の人事　…高橋和夫　24
USスチール買収問題と米労組USW　……浦田　誠

第2特集　辺野古新基地・ミサイル基地建設で再び戦場にされる沖縄　…伊波洋一　32

国家と教育 ㉔　単線型学校体系の変容　……小長井晶子　38

職場の法律相談　大会決定に反対する組合員を処分できるのか　…鬼束忠則　57

誌上学習会　『共産党宣言』⑥　共産主義者とプロレタリアの関係　…60

◆キャラバンサライ　42
◆スポーツ時評　44
◆メルボルン便り　46
◆経済を知ろう！　48
◆中國觀看　50
◆働くものと健康　52
◆たちみ席　54
◆働く現場から　55
◆この本を読んで　56
◆情報BOX　65
◆北から南から　66
◆センターとみなさんをつなぐ　68

カット＝野﨑安希子

まなぶということ

韓国の女性にまなぶ

山田（樋浦）敬子

韓国の尹錫悦大統領による非常戒厳に抗する女性たちの姿が注目された。銃を向ける兵士にひるまず対峙した女性、K-POPの乗りでペンライトを振り、寒い国会前で、「弾劾」を求めて座り込みをつづけた若い女性たち。

こうした抵抗の背景に、民主化を闘った世代の記憶の継承があるという。たしかに昨年大ヒットした映画「ソウルの春」、他にも「1987、ある闘いの真実」「タクシー運転手」など、軍事クーデターや民主化闘争を扱った映画が数多くある。

文学では、ハン・ガンさんの『少年が来る』は、1980年の光州事件がテーマだ。ハン・ガンさんは、光州事件の写真集、証言集（軍事政権下でこれらを残し、伝えてきた人々がいた）と向き合い、現地に足を運び、書き、「人間の残酷さと尊厳が極限の形で同時に存在した時空」が光州だと、ノーベル文学賞受賞式の記念スピーチで語った。

昨秋刊行された『帝国主義と闘った14人の朝鮮フェミニスト―独立運動を描きなおす』（花束書房）は、韓国のフェミニスト美術家尹錫男さんと、作家の金伊京さんが女性独立運動家14人の肖像とそれぞれの「個人史」で構成した原題「闘う女たち　歴史になる」栄連玉さん、金美恵さんによる翻訳書だ。14人が抗ったのは帝国日本の植民地支配であり、根強い家父長制だった。何度も拘束され、多くが拷問を受け、それでも活動をつづけた。解放後も南北分断、朝鮮戦争があり、北に行った女性の中には、生死の情報すらない者もいる。南を選んだ女性たちには、軍事独裁政権との新たな闘いが待っていた。

韓国では、「民主主義」が脅かされる事への危機感が共有されている。改めて日本の植民地支配と女性たちの苦難の道のりを学ばねばと思う。

（山川菊栄記念会）